

< 特別寄稿 >

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第88回

ソバ



ソバの学名は *Fagopyrum esculentum* です。属名の *Fagopyrum* は *fagus* がラテン語のブナを、*pyros* がギリシャ語の小麦を意味し、ソバの種子がブナの種子に似ていることからつけられました。種名の *esculentum* は食べられる、との意味を持っています。

ソバの世界生産量は15作物中で12位となっており、主生産国はロシア、中国、ウクライナと続き、日本は年間4万トンで第7位です。日本のソバ年間消費量は12～14万トンですので8～10万トンは輸入に依存しています。ソバ殻枕は高血圧に良いと聞いた事が有りますが、これはソバにルチンが含まれており、血管を強化し血圧を下げるために言われてきたものと考えられます。

最近の論文によりますと、ルチンやポリフェノール類による抗酸化作用、ルテオリン、アピゲニン等による抗炎症作用、ルチンによる血管強化、血圧降下作用、チロイノシトールによるインスリン感受性改善による血糖降下作用等広く研究がなされています。

本画は1800年代初期、サワビーによる作です。